

放送のウラ に 通信アリ展



特別企画展

2025

10.20 [月] ▶ 2026 02.03 [火]

休館日 土・日・祝日(ホームページでご確認ください)
開館時間 10:00~16:30 ※2025年12月16日~2026年1月5日まで施設整備のため休館します
入館料 一般300円(大学生以下無料)
会場 KDDI MUSEUM

ご予約はこちら



事前予約制

特別開催

100年前のラジオが復活 国産第1号ラジオの音を 聴いてみよう



開催日時 11月29日(土)
開催時間 【1回目】11:00~12:00
【2回目】14:00~15:00
会場 LINK FOREST3階 研修室
参加人数 各回先着40名

開催概要

■ 特別講演: 放送のはじまりと世の中の変化
国産第1号ラジオを復刻した、シャープ社友会の吉田青弘さんが、ラジオのしぐみのほかに、放送のはじまりと世の中の変化をやさしく解説します。

講師紹介: 吉田 青弘さん(シャープ社友会)

■ 国産第1号ラジオの音を聞いてみよう
電池もコンセントも不要。100年前のラジオで現代の放送はどんな音で聴こえる? 現代のラジオの音との違いを体験できる首都圏初開催のイベントです。

ご予約はこちら



0000をプレゼント!

放送のウラ と 通信アリ展

あの感動の裏に、つなぐチカラあり

放送が始まって100年。ラジオ、テレビ、そして今はスマートフォンでも、私たちはいつも「放送」を通じて情報や感動を受け取っています。
しかし、その放送が確実に届くためには、「つなぐチカラ」が必要でした。
今回の展示会では、放送の舞台裏で活躍してきた「通信」のしぐみや工夫を、映像や体験コーナーを通して楽しくご紹介します。
放送100年の歩みと、通信のこれからの未来を感じられる展示です。
普段は見えないけれど、放送を支えてきた大切なチカラに、ちょっとだけ目を向けてみませんか?

1936 「前畑がんばれ!」のウラに
国際電話回線アリ



歴史に残る熱狂的な中継を海の向こうのベルリンから日本に届けたのは、1934年にサービスが始まった短波無線による国際電話回線でした。

1969 月面着陸の中継のウラに
パラボラ・リレーアリ



人類初の月面着陸の瞬間は、世界の6億人が視聴しました。約38万km離れた月面から地球に届いた映像は、どのようにして世界中に放送されたのでしょうか?

2022 「三笠の1mm」のウラに
82個のダンボールアリ



国際スポーツ大会の中継は光海底ケーブルで日本に届けられます。途切れることが許されない放送の裏に通信のサムライたちの活躍がありました。

※展示内容は予告なく変更になる場合があります。

ACCESS

〒206-0034 東京都多摩市鶴牧3-5-3 LINK FOREST 2F
※専用駐車場はございません。

小田急多摩線 「多摩センター駅」: 徒歩 10分
京王相模原線 「多摩センター駅」: 徒歩 10分
多摩モノレール 「多摩センター駅」: 徒歩 8分

MAP



- 発熱・せきなど風邪の症状がある場合、入館をお断りすることがあります。
- せきのエチケットにご協力ください。
- 他のお客様の迷惑になる行為はご遠慮ください。
- 館内での飲食はできません。
- 酒気帯びの方のご見学はお断りいたします。
- 介助犬や盲導犬、聴導犬以外の動物を連れての来館はご遠慮ください。
- 貴重品のお預かりはできません。ご本人による管理をお願いいたします。
- 館内でのご本人の不注意による事故およびスタッフの指示、注意事項に従わず生じた事故については、施設管理者としての一切の責任を負いません。



